

記事を読んで、問いに答えなさい。

2023年6月15日朝刊中部版

登呂遺跡で稲刈りまで体験へ



駿河総合高「フードデザイン」授業

田植えで学ぶ食、環境

静岡市駿河区の駿河総合高3年生が14日、登呂遺跡(同区)の復元水田で田植えを行った。選択科目「フードデザイン」の授業を履修する53人が参加した。

田植えから稲刈りまでの体験を通して食や自然環境について学ぶ授業で、今年で4回目。同遺跡を紹介する登呂博物館の学芸員梶山倫裕さん(45)が講師を務め、稲の根をしっかりと土に埋めることや、等間隔に植えるために息を合わせて声をかけ合うことなどを助言した。

自宅の周りで水田を目にする機会が少ないという服部碧生さん(17)は「実際の田植え体験は貴重。泥の中はつるつるしてバランスを取るのが難しい」と苦労した様子だった。

今後は草刈りなどを行い、収穫した米は実食する予定。

(社会部・大村花)

田植えを体験する生徒

|| 静岡市駿河区の登呂遺跡

①記事の選択科目「フードデザイン」とは、何を学ぶ授業か。

例 (田植えから稲刈りまでの体験を通して)食や自然環境について学ぶ。

②この授業で、生徒はどんなことに注意して田植えを体験しているか。

例 稲の根をしっかりと土に埋めることや、等間隔に植えるために息を合わせて声をかけ合うこと。

③この授業のように「体験を通して学ぶ」ことには、どんな意義があると考えるか。30字以内にまとめて書きなさい(句読点を含む)。

例 体験することで実際の苦労や工夫を実感することができる。(27字)

作問者:静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢 和宏

(中学校~高校/社会、家庭、総合)

年 組 名前